# TOPtitle_bar１．動作環境

24

**当製品の動作環境は以下の通りです。**

|  |  |
| --- | --- |
| **対応OS** | Windows 日本語版 10 / 11 / Server 2012 / Server 2012 R2 / Server 2016  / Server 2019 / Server 2022 ※Windows11は24H2まで対応 |
| **対応RDBMS** | Oracle Database 11g(11.1.0)～23ai(23.4.0)  ※Oracle Database 23ai は、Oracle Cloud Infrastructureで対応 |
| **対応クラウド** | Oracle Cloud Infrastructure  - Base Database  - Autonomous Database (Transaction Processing /Data Warehouse)  Amazon Web Services  - Amazon EC2  - Amazon RDS |
| **文字コード** | SJIS, Unicode  UTF-8環境では、LOB型データ編集やファイル出力時にBOM(Byte Order Mark)を 削除する動作となります。 |
| **その他** | ・Oracle Clientがインストール済で、かつSQL\*Plusで接続可能であること。(※１)  ・Oracle Clientのビット数と、SI Object Browserのビット数が同じであること。(※2)  ・Microsoft Excel 2010以降がインストール済みであること。(レポート出力機能で使用)  ・インターネットに接続可能な環境があること。(※4) (※5) |

※1　表中に記載されているOSのうち、メーカー側でサポート保障外となったOSバージョンについては、

可能な限りサポートいたします。

(バージョン固有の不具合については対応できない場合がございますのでご了承ください。)

※2　データベースへの接続には、Oracle社より配布されているOracle Clientのインストールが必要です。

Oracle Database と Oracle Clientは、同一バージョンの使用を推奨しております。

※3　64bit版インストーラと32bit版インストーラがございます。

Oracle Clientのビット数に応じていずれかのインストーラをご使用ください。

・64bit版の場合:「x64」フォルダ内の64bit版インストーラをご使用ください。

・32bit版の場合:「x86」フォルダ内の32bit版インストーラをご使用ください。

※４　インターネットによるライセンス認証を導入していますので、

製品版としてご利用いただくためには、インターネット接続環境が必要となります。

製品をインストールするマシンが直接インターネットに接続できない場合でも、

別途インターネット接続可能なマシンがあればライセンス認証は可能です。

※５　サブスクリプションライセンスでのご利用の場合、自動で契約期間の確認、

契約更新の反映等を行っていただくため、インターネット接続環境が必要となります。

インターネットに接続できない場合でもご利用可能ですが、契約更新の反映は、

再度ライセンス認証が必要となります。

■ 注意：ライセンス認証について

インストール直後のプログラムは、30日期間制限（機能制限なし）のトライアル版です。

起動時に表示される登録画面（バージョン情報）にプロダクトNO、プロダクトKEY、

ライセンス認証KEYを入力することで製品版としてご利用が可能となります。

なお、上記ライセンス認証情報の取得には製品のご購入手続きが必要となります。

詳しいライセンスの登録手順は「４．製品登録」をご参照ください。

# title_bar２．インストール

setup.exeをダブルクリックしてください。setup.exe起動時には、下図のようにユーザーアカウント制御が求められるため、**[はい]**を選択してください。

テキスト

中程度の精度で自動的に生成された説明

※ご利用OSによっては、インストールが開始された時点でユーザーアカウント制御が求められる

場合もあります。

セットアップ画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明

　使用許諾契約画面が表示されます。

２．インストール

　本ソフトウェアをインストールするためには使用許諾契約に同意していただく必要があります。

　使用許諾契約をお読みの上、同意いただける場合のみ [次へ]ボタンを押してください。

グラフィカル ユーザー インターフェイス

低い精度で自動的に生成された説明

インストールするフォルダを指定して、**[次へ]**ボタンをクリックします。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, メール

自動的に生成された説明

インストール準備の完了画面が表示されます。

２．インストール

インストールする場合は**[インストール]**ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

下の画面が表示されましたらセットアップは終了です。**[完了]**ボタンを押してください。

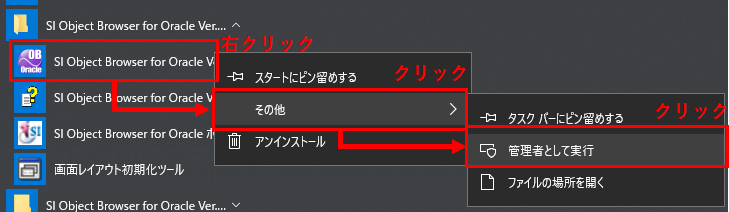
グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

# **title_bar**３．インストール後の初回起動

インストール後の初回の起動は、管理者モードでSI Object Browserの起動を行ってください。スタートメニューより「SI Object Browser for Oracle」の起動アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから**[管理者として実行]**を選択することで管理者モードで実行できます。

(２回目以降の起動は通常の方法で起動してかまいません。)



管理者モードにせずに起動した場合は、以下のようなメッセージが表示されますので、

上記手順にて、再度SI Object Browserの起動を行ってください。

テキスト

自動的に生成された説明

# title_bar４．製品登録

製品をご購入のお客様が、トライアル版から製品版にするための手順を案内いたします。

当製品ではインターネットによるライセンス認証を導入しております。

購入したライセンス数を超えて製品を利用することはできませんのでご注意ください。

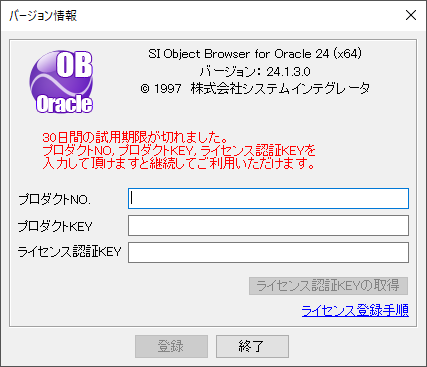
※ライセンス認証は、製品が正規にライセンスを受けたことを確認するために行うライセンスの不正使用防止技術です。

ライセンス認証を行っても、個人情報が送信されることはありません。

①「３．インストール後の初回起動」と同様に、

管理者モードにて製品を起動します。起動画面にてプロダクトNO、プロダクトKEYを入力後、**[ライセンス認証KEYの取得]**ボタンを

クリックします。



**インターネットに接続できる場合**

４．製品登録

②インターネットに接続できる場合は以下のような画面が表示されます。

登録名を入力後、**[登録]**ボタンをクリックします。

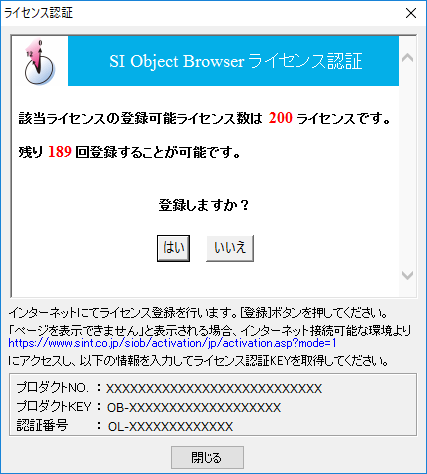
グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

※「登録名」は誰がそのライセンスを使用しているのか、ライセンス管理者が確認するためのものです。

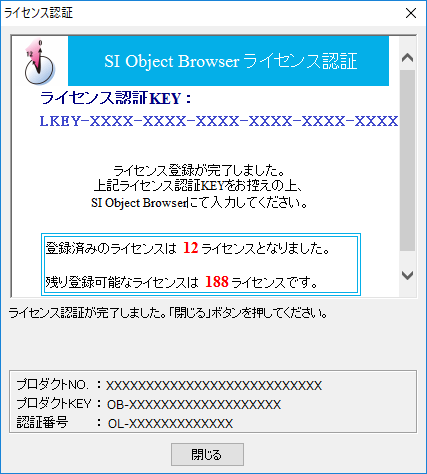
ニックネームなど任意のもので構いませんが、貴社におけるライセンスの管理者が社内の使用者を特定できるような名前を入力してください。

ライセンスの登録状況が表示されます。**[はい]**ボタンをクリックします。



ライセンス認証KEYが表示されます。 **[閉じる]**をクリックします。

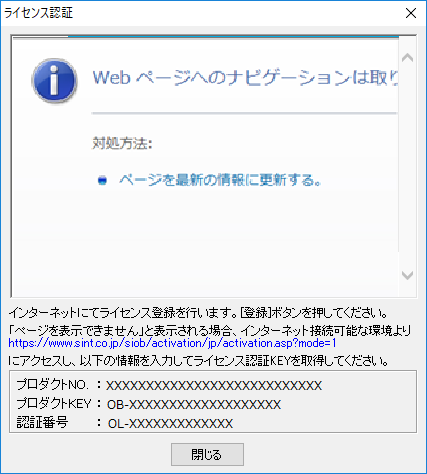
４．製品登録



**インターネットに接続できない場合**

②インターネットに接続できない場合は、以下のような画面になりますので、

画面下部に表示される「プロダクトNO｣、「プロダクトKEY」、「認証番号」を控えてください。



※認証番号はライセンス認証を行う端末の情報をもとに発行されるもので、

発行された端末以外のライセンス認証には利用できません。

次に別途、インターネット接続できる環境のWebブラウザより、以下のURLまでアクセスします。

４．製品登録

<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=1>

「プロダクトNO｣、「プロダクトKEY」、「認証番号」、「登録名」を入力後、**[登録]**ボタンをクリックします。

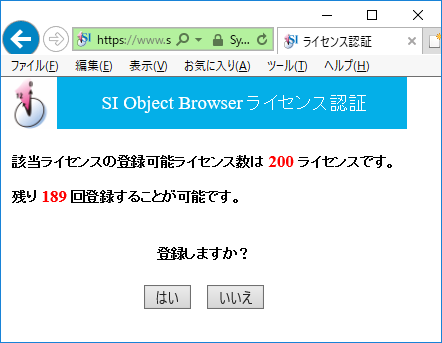
グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

※「登録名」は誰がそのライセンスを使用しているのか、ライセンス管理者が確認するためのものです。

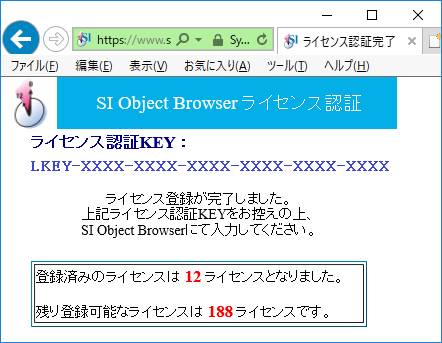
ニックネームなど何でもかまいませんが、貴社におけるライセンスの管理者が、社内の使用者を特定できるような名前をご入力ください。

ライセンスの登録状況が表示されます。**[はい]**ボタンをクリックします。



ライセンス認証KEYが表示されます。ライセンス認証KEYを控えてください。

４．製品登録



③起動時の画面に戻り、②で取得したライセンス認証KEYを入力し、 **[登録]**ボタンをクリックします。

　｢ライセンス登録を終了しました。｣とメッセージが表示されます。以上で製品登録は完了です。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, チャットまたはテキスト メッセージ

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

# title_bar５．製品の登録解除

製品登録後、マシンを入れ替える場合や、再登録したい場合は、ライセンスを解除していただく必要があります。

それぞれ以下の手順にて行ってください。

**・現在のマシンから他のマシンへ製品を入れ替えたい場合**

「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」よりアンインストールしてください。

ライセンスが登録済の場合は、自動でライセンス解除画面が表示されます。

**・新しいプロダクトKEYで製品を再登録したい場合**

上記と同様の手順で、アンインストール後、再度インストールしていただくか、

「３．インストール後の初回起動」と同様に、管理者モードにて製品を起動し、「ヘルプ」メニューの｢バージョン情報｣を選択します。

以下のような画面が表示されますので、**[ライセンス情報の削除]**ボタンをクリックします。

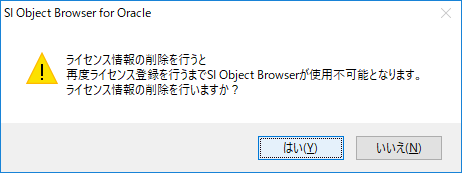
グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

削除の確認のダイアログが表示されますので、**[はい]**をクリックします。

5．製品の登録解除

※[はい]を押した時点で、再度製品登録を行うまで製品は使用不可となります。ご注意ください。

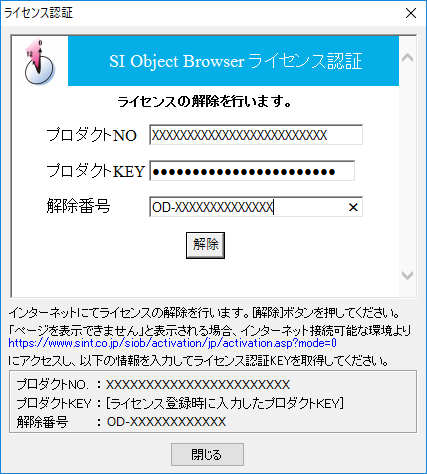


ライセンス解除画面が表示された後は、以下の操作を行ってください。

**インターネットに接続できる場合**

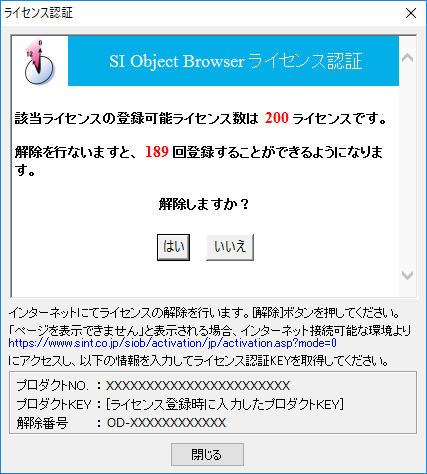
②インターネットに接続できる場合は以下のような画面が表示されます。

**[解除]**ボタンをクリックします。



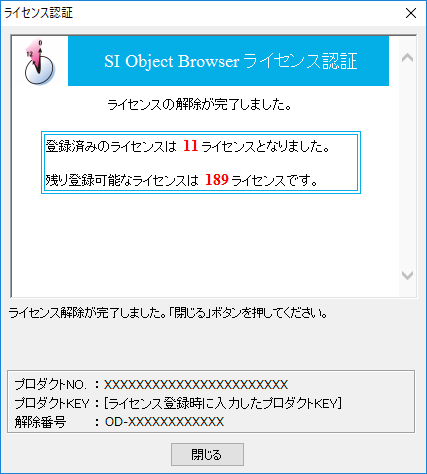
5．製品の登録解除

ライセンスの登録状況が表示されます。**[はい]**ボタンをクリックします。



ライセンス解除の完了画面が表示されます。 **[閉じる]**をクリックします。

SI Object Browserが自動で終了されます。



5．製品の登録解除

**インターネットに接続できない場合**

②インターネットに接続できない場合は、以下のような画面になりますので、

画面下部に表示される「プロダクトNO｣、「プロダクトKEY」、「解除番号」を控えてください。

「解除番号」はあとで調べることができませんのでここで必ずお控えください。

**[閉じる]**を押してください。終了確認の警告が表示されますので、**[はい]**をクリックします。

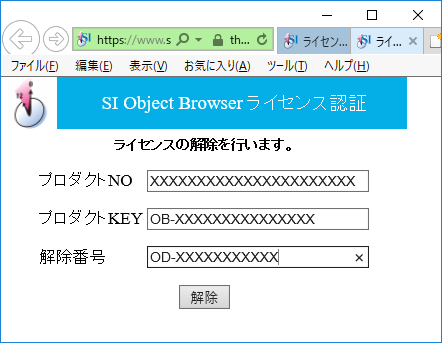
SI Object Browserが自動終了します。



次に、別途インターネット接続できる環境のWebブラウザより、以下のURLまでアクセスします。

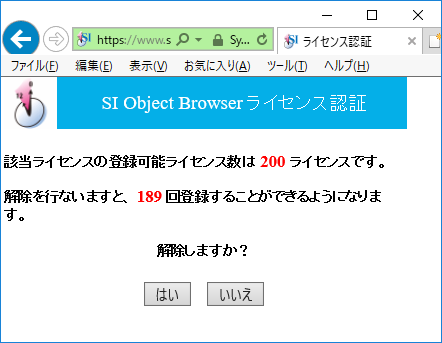
<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=0>

「プロダクトNO｣、「プロダクトKEY」、「解除番号」を入力後、**[解除]**ボタンをクリックします。

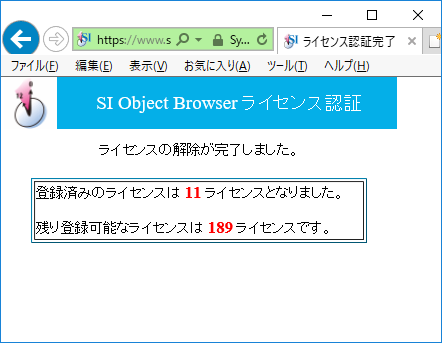


5．製品の登録解除

ライセンスの登録状況が表示されます。**[はい]**ボタンをクリックします。



ライセンス解除の完了画面が表示されます。



以上で製品の登録解除は完了です。

登録解除後、再度ライセンス登録する場合は「4.製品登録」の手順で再登録をお願いします。